

問題 次の文章を全訳しなさい。(配点 100 点)

著作権の関係上、問題文は掲載しない。

出典：Gillebaart, M., Förster, J., & Rotteveel, M. (2012). Mere exposure revisited: The influence of growth versus security cues on evaluations of novel and familiar stimuli. *Journal of Experimental Psychology: General*, 141(4), 699–714. より抜粋

入学試験問題「心理学」

問題1(配点 50 点)

研究結果における「内的妥当性」と「外的妥当性」について、それぞれ簡潔に説明するとともに、実験心理学領域と社会・応用心理学領域のそれぞれの領域において、それらがどのように関係するかを述べなさい。その際、心理学における近年の「再現性の危機」問題にも言及すること。

問題2 (配点 10 点×5)

以下の用語について説明しなさい。

- (1) モーガンの公準
- (2) ワーキングメモリ
- (3) カクテルパーティ現象
- (4) オキシトシン
- (5) 第1種の誤り

問題3 (配点 50 点)

行動遺伝学の3法則について説明し、それを受けてパーソナリティの形成における遺伝と環境の影響について論じなさい。

問題4 (配点 10 点×5)

以下の用語について説明しなさい。

- (1) 認知的不協和理論(cognitive dissonance theory)
- (2) 存在脅威管理理論(terror management theory)
- (3) 計画的行動理論(theory of planned behavior)
- (4) 拡張-形成理論(broaden-and-build theory)
- (5) 自己効力感(self-efficacy)